



1. 対象洪水の設定

現在の河道整備状況等を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね50年に1度起こる大雨を基本とし、ここでは、戦後最大の浸水被害をもたらした昭和33年9月27日の突如大雨において、坂川等の河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めています。

< 戦後最大を記録した昭和33年9月洪水(狩野川台風) >
(松戸の降雨)

1時間毎の降雨量の棒グラフ

最大1時間雨量 59.9mm
24時間雨量 308mm

59.9mm/hr

50mm以上の激しい雨
海のように降り水しぶきが
白っぽくなります。

2. モデルと解析

(1) 想定氾濫区域は、現在の河道整備状況、調節池等を勘案し、現況河川の流下能力を超えた場合に氾濫するとして、河川から溢れ出る水量を求めます。

(浸水区域・浸水深等)

氾濫量-昭和33年降雨による流出量-河道の流下能力

氾濫想定区域
河川の流下能力以上の洪水
河川の流下能力以上の洪水
河川の流下能力
堤内地
堤内地

2. モデルと解析

(2) 坂川・新坂川流域の水は江戸川に排水されます。その為洪水時では、江戸川水位の状況で排水能力は左右される事から、江戸川の状況を含め、低平地に貯まる水量から氾濫区域を算定します。

(浸水区域・浸水深等)

降雨
江戸川
坂川

3. 浸水想定区域図の作成

利根川水系坂川・新坂川 浸水想定区域図

凡例

- 1. 浸水想定区域
- 2. 浸水深1m以上
- 3. 浸水深1.5m以上
- 4. 浸水深2.0m以上
- 5. 浸水深2.5m以上
- 6. 浸水深3.0m以上
- 7. 浸水深3.5m以上
- 8. 浸水深4.0m以上
- 9. 浸水深4.5m以上
- 10. 浸水深5.0m以上
- 11. 浸水深5.5m以上
- 12. 浸水深6.0m以上
- 13. 浸水深6.5m以上
- 14. 浸水深7.0m以上
- 15. 浸水深7.5m以上
- 16. 浸水深8.0m以上
- 17. 浸水深8.5m以上
- 18. 浸水深9.0m以上
- 19. 浸水深9.5m以上
- 20. 浸水深10.0m以上

検討対象範囲

- 関係市町村 -
- 松戸市

3. 浸水想定区域図の作成

利根川水系真間川 浸水想定区域図



～関係市町村～
市川市、松戸市、船橋市、鎌ヶ谷市